

ココロがある。

ミニディスクロージャー誌

お客さまとともに

平成 23年 3月期

(平成 22年 4月 1日～平成 23年 3月 31日)



ココロがある。コタエがある。
西日本シティ銀行

CONTENTS

トップメッセージ	①
中期経営計画「New Stage 2011」元氣よく	②
地域の発展のために	④
暮らしのお役に立つために	⑥
地域の皆さまとともに歩んでいくために	⑫

ココロがある。 SIDE

経営理念

理念

西日本シティ銀行は、高い志と誇りを持って
時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する
“九州No.1”バンクを目指します。

お客さまに一番近い

お客さまに一番近い銀行として、誠実に対応し、
圧倒的に支持される銀行をめざします。

地域に貢献する

健全経営を基本に、地域に貢献し、積極的に社
会的責任を果たすことで広く信頼される銀行を
めざします。

期待に応える人づくり

あたたかな心とチャレンジ精神を持ち、自由闊達
で積極果敢に行動する人づくりに努めます。

行動憲章

心がある

私たちは、いつもお客さまの身になって、丁寧に
対応し、真摯にご相談に取り組みます。

情熱がある

私たちは、いつもお客さまの声に、熱く行動し、
チャレンジし、スピーディにお応えします。

夢がある

私たちは、いつもお客さまの期待をこえた、新しく、
価値のある提案をお届けします。

さらなる飛躍を目指して

中期経営計画「New Stage 2011」元氣よく

スタート

取締役頭取 久保田 勇夫



将来を見据えた 計画スタート

私も西日本シティ銀行は、このたび平成23年4月から平成26年3月までの3年間の計画期間とする中期経営計画「New Stage 2011」元氣よく」をスタートさせました。

この計画は、今なお停滞し、不透明感、不確実性が高まる我が国の経済情勢の下での本来あるべき地銀の姿を追求する、将来を見据えた経営計画であると考えております。

いかなる環境にも対応

日本経済は、低成長、デフレ、外国依存という問題を抱えております。加えて東日本大震災による、経済活動、国土計画、エネルギー政策、財政支出等への影響が出てまいりました。

また、地域金融機関を取り巻く経済環境としては、地銀間の競争激化に加え、ゆうちょ銀行、政府系金融機関など様々な金融機関が今まで以上にしのぎを削る展開になると予想されます。

以上を踏まえ、当面はいかなる環境をも乗り越え、国際化時代にも対応できる強靱な経営基盤の構築に取り組む時期であると考えております。

総合金融サービス業への進化

前中期経営計画から掲げる目指す銀行像「国内トップレベルのサービスを地元で提供し、お客さまとともに栄える九州No.1バンク」を実現していくために、具体的なコンセプトを2つ

設定いたしました。

1つ目は、「総合金融サービス業への進化」です。お客さまのあらゆるライフステージにおいて生じる様々なニーズに対し、お客さま目線に立った、最適なサービスを提供することを意味しております。私どもはこれを「企業まるごとサポート」人生まるごとサポートと呼んでおります。

2つ目は、「徹底した生産性の向上」です。これはお客さま目線に立ったサービス向上と、コスト削減を同時に実現し、経営効率を高め、強靱な経営基盤を構築することを意味しております。

元氣よく

また、この計画の特徴的な点は、「元氣よく」という副題をつけたことです。「近年の我が国は、根柢のない閉塞感が漂っている。何事にも、もつと元氣よく活発に取り組んではどうか。」

地域への貢献

実は、東日本大震災の発生以前から、私どもはこのように感じておりましたので、「颯爽・爽やか・澆刺」というような形容の似合う銀行グループでありたいとの思いを込めました。

今、我が国では、先の大震災により多くの方々、地域が未曾有の苦難を乗り越えようと思いをひとつに頑張っておられます。こうしたなか、成長するアジアに近く、九州新幹線鹿児島ルート^{わか}の全線開通に沸く地元九州が生み出す元氣が、被災地へのエールとなり、我が国経済の牽引力となることを願ってやみません。役職員一同、「地域の活性化なくして地銀の将来なし」ということを心に刻み、元氣よくこの計画を実行することによって、お客さまの期待に応え、地域の活性化に貢献してまいります。

西日本シティ銀行が目指す銀行像

国内トップレベルの
サービスを地元で提供し、
お客さまとともに栄える
九州No.1バンク

「国内トップレベルのサービス」

これまで、国際業務やソリューションといった専門的な分野で、地銀初、九州地銀初の先進的な取り組みを行ってきました。今後もこうした取組みを継続し、また、全職員がそれぞれの持ち場で高いレベルを追求して、他の地銀との差別化を図ります。

「地元で提供」

地域の繁栄と当行の繁栄は不可分であるとの認識のもと、地元で、地元の立場に立ってサービスを提供し、メガバンク・外資系金融機関との差別化を図ります。

この2つの差別化戦略により、地域との一体的な成長を通じて「お客さまとともに栄える九州No.1バンク」を実現します。

目指す銀行像の実現に向け、 中期経営計画「New Stage 2011～元気よく～」が 平成23年4月からスタートしました。

計画策定に当たっては、まず現下の環境認識に基づき、当行が進むべき方向性を考えました。

環境認識

日本経済は
不透明感・不確実性が
増している。

● 労働人口の減少が見込まれ、日本の潜在成長力は低い。

潜在成長力＝資本・労働力・生産性をフル利用して得られるGDPの成長力

● 経済のグローバル化により、日本経済・地方経済は海外の経済情勢の影響を受ける。

● 財政再建の遅れと成長力の低さから、国の借金問題がさらに悪化し、金利リスクが高まることが懸念される。

九州のポテンシャルは高い。

● 九州新幹線鹿児島ルートと全線開通と駅ビル「JR博多シティ」の開業により、様々な面で経済効果が見込まれる。

● 高い経済成長が期待されるアジアに近く、歴史的にも交流が深い。

● 東日本大震災からの復興は、日本全体で取り組むべき喫緊の課題。そのなかで、製造拠点・農業生産地等として九州が果たす役割は大きい。

今後の進むべき方向性

日本経済の不透明感・不確実性を踏まえると

経営環境は今後も厳しい。

厳しい環境を乗り越え、国際化時代に対応していくには
強靱な経営基盤の構築に取り組むべき。

強靱な経営基盤を構築するため

● 収益機会を

拡大すると同時に、

● コストを削減する必要がある。

「収益機会の拡大」と「コスト削減」を同時に実現するために

● 経営陣の強力な

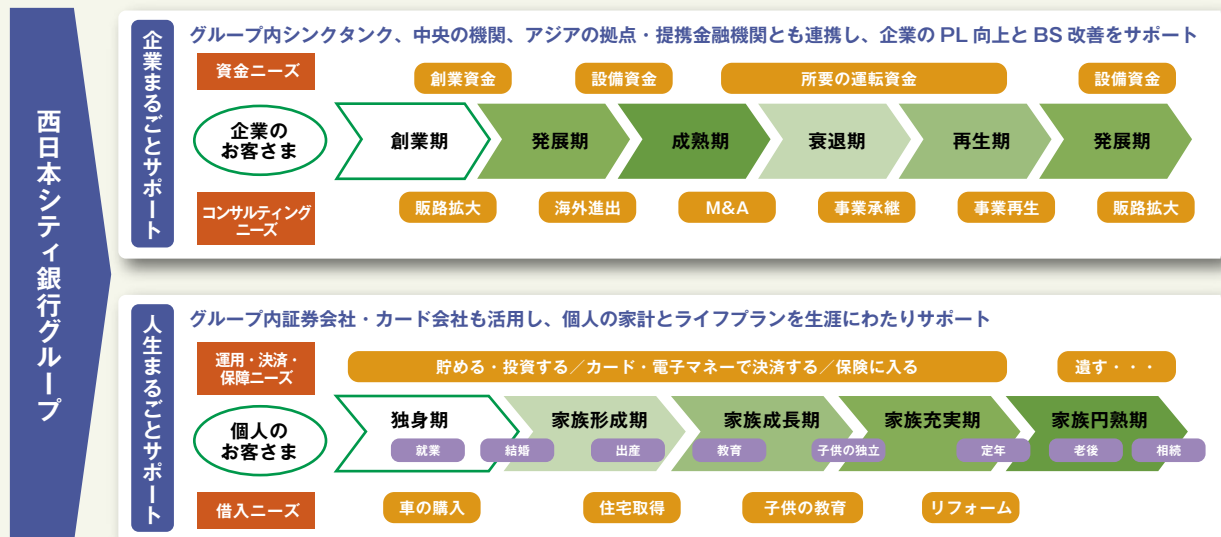
リーダーシップのもと、

ビジネスモデルを見直す。

進むべき方向性をベースとした計画のコンセプトは、
「時代の変化に対応した『総合金融サービス業』への進化」と「徹底した生産性向上」の2つです。

時代の変化に対応した“総合金融サービス業”への進化

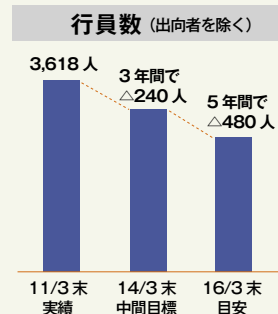
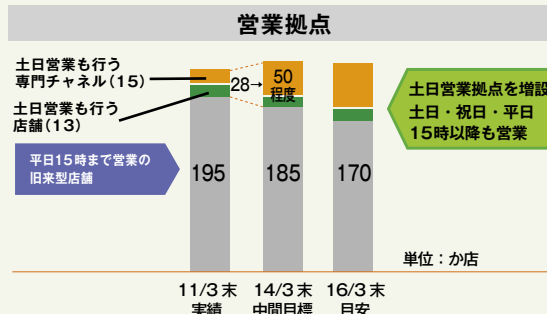
～お客様のライフステージから生じる様々なニーズに対し、お客さま目線に立った最適なサービスを提供～



徹底した生産性向上

～サービス向上と経営合理化の両立により生産性を改善し、強靱な経営基盤を構築～

土日営業拠点を増設しお客さまの利便性を高める一方で、旧来型店舗の統廃合を進め、生産性を向上させます。また、人員の効率化を進め、コスト削減を断行します。



「地域の活性化なくして地銀の将来なし」との認識に立ち、
金融面以外からも地域の発展に貢献します。

- 地場産業育成**
 - 地元企業の成長分野への新規参入を側面から支援します。
- 高齢化の進展により地元企業が直面する事業承継やM&A等に積極的に関与します。
- 積極的な産官学連携を継続し、「学」の優れた技術・ノウハウを地場産業発展に取り込みます。
- 環境配慮**
 - 環境負荷軽減に取り組む企業を支援するとともに、当行自身も環境にやさしい業務運営を実践し、環境に配慮した取組みにおいて地銀トップレベルを目指します。
- 知的貢献**
 - 当行及び各界トップによる質の高い講演会や金融知識の普及活動など、地域社会と次世代を担う青少年等への知的貢献を継続します。
- 歴史・文化活動**
 - 地元根付く歴史・文化活動は地方銀行のインフラの一部と位置づけ、当行の特長である歴史・文化活動への取組みを継続し、豊かな地域社会の実現に貢献します。

海外ネットワークの活用

地元企業の海外ビジネスを支援しています

当行は、国際金融市場の発展を先取りした貿易決済サービスや為替リスクヘッジ商品の提供など、最先端の商品・サービスを提供しております。また、海外駐在員事務所を活用した多様な情報の提供を通じて、地元企業の海外ビジネスをサポートしております。

海外ビジネスに関するご相談は

グローバルビジネス・サポートセンター

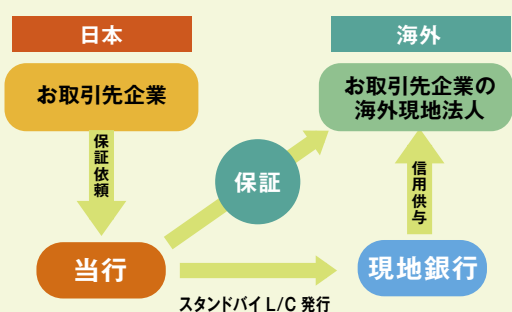
TEL 092(476) 2560

【受付日】月～金曜日 銀行休業日は除きます 【受付時間】9:00～17:00

海外現地通貨建て資金調達を支援

バンコック銀行（タイ）との業務協力協定を活用し、平成22年12月に取引先企業のタイ現地法人によるタイバーツ建て資金調達を支援しました。

海外現地通貨建て資金調達の例



中国銀行（BANK OF CHINA）に業務トレーニーを派遣

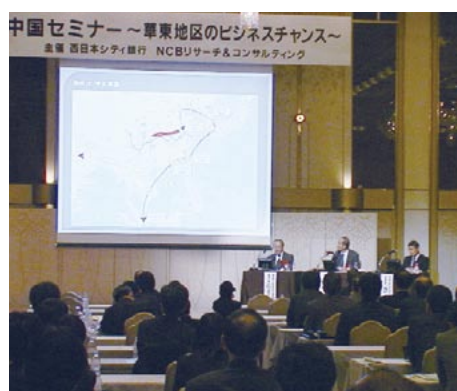
当行は、中国銀行（BANK OF CHINA…本店北京）と平成13年から業務協力協定を締結

しており、平成22年8月には当行が九州の地銀として初めて人民元建て貿易決済を導入するなど、同行との業務協力協定を積極的に活用しております。

当行と中国銀行（BANK OF CHINA）は、この協力関係を更に発展させ、業務トレーニーを相互に交換できる制度を創設しました。平成23年2月より、中国における金融商品・サービス等の銀行業務知識の習得を主たる目的として、当行から2名の業務トレーニーを派遣しております。

中国セミナー開催

お取引先の関心が高い上海を中心とした中国華東地区にフォーカス



を当て、「中国セミナー～華東地区のビジネスチャンス～」を平成22年12月に開催しました。

第一部の基調講演では、前・駐中国特命全権大使の宮本氏、そして上海より復旦大学の樊（ハン）氏を招き、中国の最新の政治経済動向をお伝えしました。

第二部のパネルディスカッションでは、中国進出企業の方々による具体的事例を中心とした情報を提供しました。

台湾投資セミナー開催

平成22年11月に台湾經濟部投資業務処、台北駐日経済文化代表処が開催した「台湾投資セミナー」の後援および事務局を務めました。

本セミナーは、台湾における最新の投資情報、日台中企業の連携手法をはじめ、アジアで事業を展開する日本企業による取組事例が具体的に紹介されるなど、台湾への投資環境の認識を深めていただく絶好の機会となりました。当行では今後も、国内トップレベルのサービスを地元で提供することをモットーに、皆さまに質の高い最新情報を提供してまいります。

平成23年1月、アジア開発銀行（ADB）が発行する債券「ウォーター・ボンド」への投資を行いました。

ウォーター・ボンドは、アジア・太平洋地域の開発途上国におけるさまざまな水関連プロジェクトに活用され、水資源の統合的管理に向けたADBの政策「Water for All」を支援するものです。アジアの開発途上国においては、著しい経済成長が見込まれる一方で、人口増加や経済成長に伴う水資源の枯渇も懸念されており、この水問題が経済成長を阻害する危険性があります。九州との結びつきが深いアジア開発途上国の水関連プロジェクトを、この投資を通じて支援することで、地域発展に貢献したいと考えています。

コンサルティング機能の拡充

九州新幹線全線開業・ JR博多シティ開業記念商談会

平成22年12月、九州の地産品を發掘する「ジェイアール九州商事商談会」を九州の金融機関との共催により開催いたしました。本商談会は今年3月の九州新幹線全線開業・JR博多シティ開業を契機としたお取引先の販路拡大支援および地場産業振興への寄与を目的とするもので、当日各行のお取引先34社が参加され、九州新幹線つばめや特急列車の車内に設置する通信販売カタログの商品、お土産品、鉄道関連グッズなどについての商談が行われました。当行ではお取引先のビジネス拡大に資するため、今後もさまざまな商談会に積極的に取り組んでまいります。

経営者向けの各種セミナー開催

平成23年2月、当行とNCBリサーチ&コンサルティング主催の「物流戦略セミナー」を開催しました。このセミナーは、物流改善・改革、サプライチェーンマネジメント効率化等の先進的な「物流戦略」をテーマとし、企業経営のお役に立つ情報の提供を目的としたもので、卸売業や製造業、運送業を中心におよそ100名が参加されました。



このほかにも事業承継・M&A、食品リサイクル、農業参入、農林水産業の6次産業化といったテーマでセミナーを開催し、企業経営に役立つ情報発信を行っています。



九州地銀初！崇城大学の「エコキャンパス」新築に関して「環境省利子補給活用資金」を活用した融資を実施

当行は、学校法人君が淵学園崇城大学（熊本市、理事長…中山峰男氏）の「エコキャンパス」新築にかかる設備資金について、環境省の「地球温暖化対策加速化支援無利子融資利子補給事業制度」

を活用した「環境省利子補給活用資金」※による融資を実施しました。

同制度を適用した融資は、九州の地域金融機関として初めてであるとともに、学校法人に対しては全国で初めてとなりました。当行は、今後も環境に配慮した取組を行うお客さまの活動を積極的に支援してまいります。



＜ナノサイエンス学科棟 完成イメージ＞

※「環境省利子補給活用資金」について

環境省の「地球温暖化対策加速化支援無利子融資利子補給事業」に即したもので、同事業の取扱金融機関については財団法人日本環境協会により公募で選定されますが、当行は九州地区の地域金融機関で初めて取扱金融機関に選定され、平成二十二年二月二日より取扱いを開始していたものです。

九州の元気を
応援しています



「志、情熱企業」
～中小企業応援テレビ番組～

地元企業の中で、技術力やノウハウ等を持つ特徴ある企業を紹介するテレビ番組を毎週土曜日に放映中です。当番組で紹介した企業は120社を超えました。

当行ホームページ(<http://www.ncbank.co.jp>)からでも番組内容をご覧いただけます。

専門性の高いサービスをご提供

お客さまの「これからを
オーダーメイド
「資産運用専門スタッフ」

お客さまが描かれる「これからのために、私たちにできること」。

私たちは、お客さまひとりひとりのライフプランに関するさまざまなニーズにお応えできるよう、お客さまごとにオーダーメイドのプランをご提案し、その実現のお役に立ちたいと考えています。

当行では、各店にマネーアドバイザーやエリアを担当するチーフマネーアドバイザーを配置し、金融資産に関する具体的な運用のアドバイスやご提案をしています。

また、お客さまの資産全般の運用や相続、事業承継等のより幅広いご相談には、高度な専門知識を持つプライベートバンカーが、各店の担当者と共にライフプランに合わせたご提案をしています。

私たちに、お気軽にご相談ください



営業推進部 プライベートバンカー
宍戸 冬樹



営業推進部 チーフマネーアドバイザー
有山 智子



千早支店 マネーアドバイザー
眞鍋 友里



柳川支店 マネーアドバイザー
今村 理恵



徳力支店 マネーアドバイザー
磯島 理恵



自由ヶ丘支店 マネーアドバイザー
梶本 周吾



平成23年1月、当行黒崎支店内に店舗を構える共同店舗として3か店目となる、西日本シティTT証券「黒崎支店」を開設しました。地域の中でお客さまに一番近く、最も選ばれる証券会社を目指します。

西日本シティTT証券

土日もご利用いただけます

九州の銀行ではじめての、保険の相談窓口オープン！

NCB ほけんプラザ



平成23年1月に、天神と宗像にオープンした保障性保険専門の相談窓口「NCBほけんプラザ」。いつも暮らしのそばにある銀行で、保険の見直し相談や悩みの解決ができます。相談料は、もちろん無料です。

当行専門スタッフが中立の立場でアドバイスいたします。今の保険がベースなら継続をお勧めしますし、改善が必要な最適なプランをご提案いたします。

平日は19時まで、土日・祝日も午後17時まで営業しています。キッズスペースもございますので、ご家族でお気軽にお立ち寄りください。

土日・祝日にも銀行で
保険相談
「NCBほけんプラザ」



NCB アルファ天神
姫野 美紀子

曜日や時間を気にせずゆつくりと、どなたでもご利用いただけるコンサルティングプラザ「NCBアルファ天神出張所」。福岡市の中心「天神」にあり、平日は19時まで、土日・祝日も17時まで営業しています。

資産運用相談の専門スタッフが、お客様のライフプランに合わせたご提案をさせていただきますので、仕事帰りや天神へのお買い物の際に、ぜひお立ち寄りください。

土曜日、日曜日も
ご利用いただけます！
「NCBアルファ天神」

福岡市中央区天神2-15-28
西日本シティ銀行大名支店ビル4階
平日9時～19時、土日・祝日10時～17時
(12月31日～1月3日及び5月3日～5日を除きます)

土日もご相談いただけます

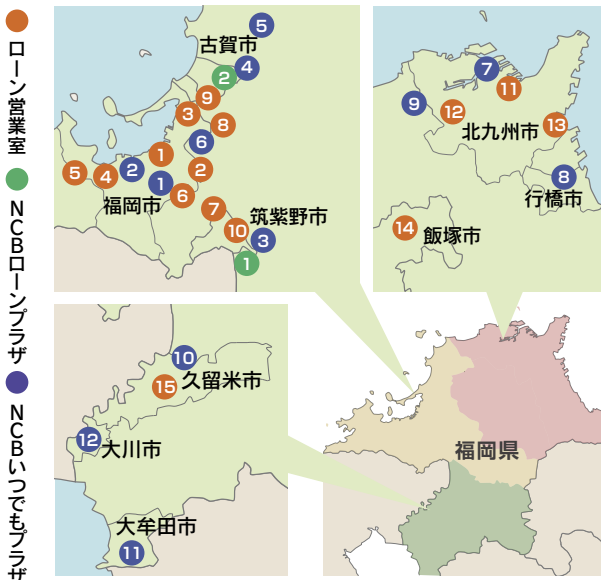
週末もローンの相談にお越しください
「ローン営業室・NCBいつでもプラザ」

「土日にくつくりローンの相談がしたいな。」

さまざまな生活スタイルのお客さまが土・日曜日にも気軽にローンについてご相談いただける専門の相談窓口を福岡県下26か所に設置しています。(NCBローンプラザ・ローン福岡営業室を除く)

ご自宅の新築・ご購入、ご返済中の住宅ローンのお借換などの住宅に関するローンをはじめ、お車のご購入やお子さまの教育資金に関するローンなどお気軽にご相談ください。

(※)営業時間、営業日については、下表をご覧ください。



ローンプラザ 平成23年6月17日オープン!!

- ① NCBローンプラザ・美しが丘
(美しが丘出張所内)
- ② NCBローンプラザ・古賀
(イオンスーパーセンター古賀店出張所内)

【営業時間等】

平日・土日10:00～17:00

休業日…12/31～1/3、5/3～5/5、
祝日(但し祝日が土・日曜日の場合は営業)、振替休日

「NCBローンプラザ」OPEN

住宅ローン・消費者ローンなどについて、お客さまにとって最適なご提案を、より身近で、より気軽に提供できるよう「NCBローンプラザ」を二拠点新設いたします。

「NCBローンプラザ」は、お客さまのご自宅近くで土日にも営業するローン専門のご相談窓口です。

専門スタッフが皆さまのお越しをお待ちしております。

ローン営業室 ローンをご相談いただける専門拠点です。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| ① ローン天神営業室(大名支店ビル6F) | ⑨ ローン新宮営業室(新宮支店2F) |
| ② ローン福岡営業室(福岡支店内) | ⑩ ローン二日市営業室(西鉄二日市駅前支店内) |
| ③ ローン香椎営業室(千早支店内) | ⑪ ローン北九州営業室(小倉支店内) |
| ④ ローン姪浜営業室(姪浜駅前支店3F) | ⑫ ローン北九州西営業室(折尾支店2F) |
| ⑤ ローン前原営業室(前原支店2F) | ⑬ ローン北九州東営業室(下曽根駅前出張所内) |
| ⑥ ローン福岡南営業室(老司支店内) | ⑭ ローン飯塚営業室(穂波支店内) |
| ⑦ ローン春日営業室(春日出張所内) | ⑮ ローン久留米営業室(久留米センター出張所内) |
| ⑧ ローン粕屋営業室(粕屋支店2F) | |

【営業時間等】

平日9:00～17:00 土日10:00～17:00/休業日…12/31～1/3、5/3～5/5、祝日(但し祝日が土・日曜日の場合は営業)、振替休日
※ローン福岡営業室…土日・祝日は休業

NCBいつでもプラザ 土日・祝日、平日15時以降もご相談・お申し込みができる窓口です。

- | | | |
|----------------------|----------------------|---------------|
| ① 田島支店(ダイエー笹丘店内) | ⑤ 赤間支店(サンリブくりえいと宗像内) | ⑨ ゆめタウン遠賀出張所 |
| ② ショッピングモールマリナタウン出張所 | ⑥ イオン福岡東出張所 | ⑩ ゆめタウン久留米出張所 |
| ③ ゆめタウン筑紫野出張所 | ⑦ イオン戸畑出張所 | ⑪ ゆめタウン大牟田出張所 |
| ④ イオンスーパーセンター古賀店出張所 | ⑧ ゆめタウン行橋出張所 | ⑫ ゆめタウン大川出張所 |

【営業時間等】

平日10:00～20:00 土日・祝日10:00～17:00/休業日…12/31～1/3、5/3～5/5、ショッピングセンター店休日
※田島支店、赤間支店…平日は9:00より ゆめタウン遠賀出張所…平日は18:00まで

新しい店舗に「エコ設備」 「ユニバーサルデザイン・バリアフリー設備」を 取り入れています

当行の新しい店舗は、太陽光発電システムやLED照明、エコガラス、雨水再利用など、地球環境に配慮した「エコ設備」、自動ドアや段差のない出入口、点字ブロック、多目的トイレ、エレベーターなど、お客さまがご利用いただきやすい「ユニバーサルデザイン・バリアフリー設備」を積極的に取り入れています。今後も地域の皆さまに親しまれる「お客さま目線」での店舗づくりに取組んでまいります。



【新店舗の主な機能】

支店名	オープン日	エコ設備				ユニバーサルデザイン・バリアフリー機能				
		太陽光発電	LED照明	エコガラス	雨水再利用	自動ドア	段差のない出入口	点字ブロック	多目的トイレ	エレベーター
折尾支店	平成21年7月	●	●	●	●	●	●	●	●	●
新宮支店	平成21年10月	—	●	●	●	●	●	●	●	●
門司駅前支店	平成22年7月	●	●	●	●	●	●	●	●	●
黒木支店	平成23年1月	—	●	●	—	●	●	●	●	—

3

その他、窓口振込手数料の優遇や代筆・代読のご対応を実施しております。詳しくは、お気軽に取引店窓口にお問い合わせください。

2

点字文書の無料郵送サービス

取引店窓口へ直接又は電話でのお申込みにより、左記の取引明細等を点字で作成し、ご自宅宛に送付するサービスを実施しています。
※対象取引…普通預金・貯蓄預金取引明細の通知（1カ月単位で送付）定期預金満期の通知（満期日到来の都度送付）

1

視覚障がい者対応（受話器型操作機付）ATMの増設

全ての営業店に1台以上の設置が完了し、店外ATMコーナーと併せ341台となりました。（2011年3月末現在）今後も順次増設を行い、一層の利便性向上に努めてまいります。



※視覚障がい者対応 ATM
原則各 ATM コーナーの左端に設置しています

当行では、視覚障がいをお持ちのお客さまにも安心してご利用いただけるよう、以下のような取組みを行っております。

視覚障がいをお持ちの
お客さまに配慮した取組み

便利にご利用いただけます

小さなローンもお気軽に
「NCB キャッシュユエース」

当行では、住宅ローンやマイカーローンなどの「大きなローン」だけでなく、「日々のちよつと足りない」を応援する「小さなローン」もお取扱しております。

例えば、急な出費が必要なおきに役立てただける「NCB キャッシュユエース」。年会費・入会金はもちろん無料です。専業主婦やパート・アルバイトの方も、お気軽にお申込みいただけます。

お申込方法も簡単です。電話やインターネットの他、お近くのATMからお申込みが可能です。

また、お忙しい方は、来店せずに郵送でのお申込みもOKです。（当行に普通預金口座をお持ちでカードローン契約のない方のみ）

改正貸金業法の完全施行（平成22年6月）を踏まえ、「小さなローン」のニーズに地域金融機関として積極的に取り組んでまいります。



ATM時間外利用手数料がおトクに
「オールインワンカード」

「キャッシュカード・クレジットカード・ローンカード」の3つの機能が1つになった「オールインワンカード」。

お手元のキャッシュカードからお切替えいただくと、ATMの時間外利用手数料が、1年間無料（当行・ローン・九州内の一部のファミリーマートのATMが対象）になるのはご存知ですか？

2年目以降もNCBポイントサービスのお取引ポイントに応じてATM時間外利用手数料がおトクになります。（ステージ2の場合、平日のみ無料、ステージ3の場合いつでも無料）

気になる年会費も、初年度は無料※となっています。2年目以降も携帯電話料金をオールインワンのクレジットカード機能で決済いただくか、クレジットカードを年間10万円以上ご利用いただければ、無料となります。（ただし、ゴールドカードは除きます。）



（※）ベーシックカードの年会費は通常1,312円（消費税等込）です。

インターネットバンキングサービスが
ますますグレードアップ！
「NCBダイレクト」

『仕事や家事で忙しくて、銀行に行く時間がない！』そんなお客さまにご利用いただきたいのがダイレクトバンキングサービス「NCBダイレクト」。

なかでも、インターネットバンキングなら、残高のご確認やネットショッピングの決済、お届け住所の変更が自宅パソコンの『カーンタン操作』でお取引できて、とても便利です。

さらに、当行本支店間のお振り込みや住宅ローンの金利変更・繰上返済も『手数料無料』でお取引できて、とてもお得です。

また、通帳を発行しないWeb口座「ネットスタイル」や投資信託の各種報告書を電子化し、ネット上で閲覧ができる「Nダイレクトプレミアム」の取扱いを開始いたしました。是非一度お試しください。

（注）ご利用には事前のお申込が必要です。個人のお客さまでも事業性のお取引についてのご利用はできません。



お客さまのライフサイクルに
合わせてご利用いただけます
「便利なATMサービス」

当行のATMコーナーは、お客さまのライフサイクルに合わせて、最長稼働時間を平日は早朝7時から深夜23時まで、土日・祝日は朝8時から夜21時までとしています。

また、ATMは、営業店206か店の店舗内に929台、店舗外に315か所448台設置（コンビニATMを除く）しています。さらには、九州内の地方銀行9行および第二地方銀行8行（※1）とATM利用手数料を相互無料開放しており、他行のATM/CDにおいて、お手持ちの当行キャッシュカードによるご出金利用手数料が無料（※2）となっています。

なお、各ATMの設置場所・稼働時間につきましては、当行ホームページ「店舗／ATMナビ」をご参照いただくか、各営業店にお問い合わせください。



（※1）地方銀行9行…福岡銀行、筑邦銀行、佐賀銀行、大分銀行、十八銀行、親和銀行、肥後銀行、宮崎銀行、鹿児島銀行、第二地方銀行8行…長崎銀行、福岡中央銀行、佐賀共栄銀行、熊本ファミリー銀行、豊和銀行、宮崎太陽銀行、南日本銀行、沖縄海邦銀行

（※2）平日8時45分～18時00分の時間帯のみ無料となります。

安心に向けて取り組んでいます

金融犯罪にご注意ください！

銀行員や警察官を装い「キャッシュカードが偽造されている」「あなたの口座が犯罪に利用されている」などとお客さまの不安を煽って、言葉巧みに暗証番号を聞き出し、キャッシュカードを騙し取って出金する犯罪が発生しています。

当行員や警察官が、電話や店舗外で暗証番号をお尋ねしたり、キャッシュカードをお預かりすることはありません。

したがって、外部からの照会に対して暗証番号を回答したり、キャッシュカードを渡すことのないよう十分ご注意ください。

反社会的勢力への対応について

当行は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係遮断に向けた取り組みを行っています。政府が策定した「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」（平成19年6月19日犯罪対策閣僚会議幹事会申合せ）等を踏まえて、融資取引の約定書や普通預金規定等の各種規定を改定し、暴力団等の反社会的勢力を排除する条項（「暴力団排除条項」）を導入しています。

「金融犯罪被害に関する相談窓口」 ☎ **0120-797-919** へ 【受付時間】 月～金曜日 9：00～17：00（銀行休業日は除きます）

金融円滑化への取り組み

平成21年12月に施行された「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」（中小企業金融円滑化法）は、中小企業のお客さまの事業活動の円滑な遂行、ならびに住宅ローンご利用のお客さまの生活の安定を目的に、平成24年3月31日まで延長されました。

当行は、法の趣旨を踏まえ、お客さまからの各種ご相談・ご要望に、より迅速かつ適切に対応できるよう取組むだけでなく、中小企業のお客さまの経営支援への取組みを強化するなど、これまでどおり地域金融の円滑化に積極的に努めてまいります。

金融円滑化相談窓口

最寄りの窓口でお気軽に相談いただけるよう、すべての営業店のご融資窓口及びビジネスサポートセンター、ローン営業室においてご相談・お申込みを承っております。

苦情等のご相談窓口

当行は、お客さまからのご意見や苦情には真摯な姿勢で公正・迅速に対応するとともに、お客さまのご理解と信頼を得られるよう努めております。

お客さまからのご意見・苦情は、営業店および次のお問い合わせ窓口までお申し出ください。

西日本シティ銀行お客様サービス室

☎ **0120-162-105**

または

FAX **092-461-1916** (24時間)

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（銀行休業日は除きます）

西日本シティ銀行の本支店窓口

金融ADR制度について

平成22年10月1日より金融ADR制度が開始されました。

金融ADR制度とは、金融分野における裁判外紛争解決手続（※）のことで、お客さまが、金融機関との間で十分に話し合いをしても問題の解決がつかないような場合に活用いただける制度です。国の指定を受けて中立性を確保した指定紛争解決機関が、お客さまや金融機関からの申出を受け、苦情やトラブルの解決を図ります。

当行は、「全国銀行協会」と「社団法人信託協会」との間で、紛争解決等業務に関する「手続実施基本契約」を締結しています。

（※）裁判外紛争解決手続（Alternative Dispute Resolution）とは、身の回りで起こるトラブルを、裁判ではなく中立・公正な第三者に関わってもらいながら柔軟な解決を図る手続です。

全国銀行協会 相談室

TEL **0570-017109**

または

TEL **03-5252-3772**【受付時間】月～金曜日9:00～17:00
（銀行休業日は除きます）

信託協会 信託相談所

☎ **0120-817335**

または

TEL **03-3241-7335**【受付時間】月～金曜日9:00～17:15
（銀行休業日は除きます）

交流やふれあいを大切にしています。



経済情報をお届けします 新春講演会

時々刻々と社会が変化する中、経済・金融についての情報をタイムリーにお届けする機会として、昨年に引続き、地域の皆さまをお招きし、新春講演会を開催しました。(平成23年1月)

今回は、「2011年経済・金融の見通し～世界、日本、そして九州～」と題し、最新の経済金融情報をお伝えしました。

今後も皆さまのお役に立つ情報を提供する機会を設けていきます。



クイズで楽しく金融経済を学んでもらう 「エコノミクス甲子園」九州大会開催

自らで判断する「自己責任能力」が重要視される昨今、金融経済においても若者への「金融知力」の普及がますます必要とされています。

社会に出る直前の高校生に、金融経済の知識に触れ、楽しみながら金融知力を身につけてもらうことを目的とし、平成22年12月、第5回全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」九州大会を開催しました。

大会本番では九州各地から参加した多数の高校生たちが熱戦を繰り広げました。



～福岡から元気を！～ 「ふくおかの応援歌」完成

合併5周年記念事業の一環として、福岡にさらなる活力をとの思いを込め、地元で広く愛され受け継がれていく愛唱歌「ふくおかの応援歌」3部作を制作いたしました。「わが街ふくおか」「中洲よいよい」「綺想曲 博多」の3曲で構成されています。「わが街ふくおか」と「中洲よいよい」は、歌詞を一般公募し、福岡ゆかりの方々の作曲により完成いたしました。「ふくおかの応援歌」3部作が一人でも多くの方の心の歌となり、広く愛され受け継がれていくことを願ってやみません。



地域の歴史や文化を取り上げて、 わかりやすく紹介します

「九州流」 「博多に強くなろう・北九州に強くなろう」

私たちは、地域の活性化に貢献したいとの思いを込め、2種類の広報誌を発行しています。「九州流」は、九州の歴史・文化・アジアとの交流をテーマに、国際レベルの視点から地域の情報を掘り起こして発信する『ふるさと発見誌』として、平成21年に創刊しました。「博多に強くなろう・北九州に強くなろう」は、地元の身近な話題やゆかりの人物等を取り上げてわかりやすく紹介する刊行物として、昭和54年より発行しています。現在95号に至りました。

地域の優れた経営者を
表彰しています

【財団法人九州・山口地域
経済貢献者顕彰財団】

九州・山口地域において、地域経済の
発展や産業の開発に特に寄与している
中堅・中小企業で、経営面・技術面に優
れた業績を有する経営者の方々を毎
年表彰し、「経営者賞」を授与してい
ます。

昭和47年の財団創設以来、表彰は
38回を数え、受賞者は145名となり
ました。

受賞者が経営する企業のうち、上
場または店頭公開を果たされる企業
も多数あります。



アジアとの国際交流を
支援しています

【財団法人西日本国際財団】

アジア諸国との国際交流を推進する
ことにより、国際相互理解の促進及び国
際的人材の育成をはかり、国際親善の
推進に寄与することを目的として、さま
ざまな事業活動を行っています。

また、九州・沖縄・山口地区を対象に、
アジアの発展及びアジアとの国際交流に
貢献した団体・個人を表彰する「アジア
貢献賞」、国際相互理解と国際友好親
善の促進に貢献している小学校・中学校
及び地域子ども団体を表彰する「アジア
Kids大賞」を設け、アジア諸国との国
際交流事業を支援しています。



皆さまに愛されるミニコンサート
300回記念特別演奏会開催

【財団法人福岡文化財団】

毎月1回本店エントランスホールで開
催する「プロムナードコンサート」。皆さ
まに愛され、25年間続いています。お
陰さまで平成22年12月に300回を迎
え、平成23年3月に「300回記念特
別演奏会」を開催しました。

また、福岡市内の小学校で本物のク
ラシック音楽演奏や大道芸パフォーマンス
を披露する「ふれあいライブ」は、子
どもたちに変化を与えています。

主催する福岡文化財団は、地域文
化の向上を願い、美術、音楽、演劇等
芸術を通して、より豊かな地域社会づ
くり貢献する活動を行っています。



東日本大震災
義援金の寄付

3月16日から全店の窓口で「西日本
シティ銀行ユニセフ東日本大震災緊急
募金」の受付を開始し、5月31日ま
でにお振込みいただいた募金は、
40,459,763円となりました。
多くの皆さまからのご好意をいただき、
本当にありがとうございます。引き
続き募金を受け付けておりますので、ご
協力をよろしくお願いいたします。
(寄付先：公益財団法人 日本ユニセフ
協会)



財務諸表

貸借対照表 (平成23年3月31日現在)

(単位: 百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
現 金 預 け 金	210,645	預 渡 性 預 金	6,253,206
コ ー ル ロ ー ン	10,735	コ ー ル マ ネ ー	172,795
特 定 取 引 資 産	3,294	債 券 貸 借 取 引 受 入 担 保 金	134,379
金 銭 の 信 託	2,942	借 用 金	44,459
有 価 証 券	1,686,148	外 国 為 替 金	56,834
貸 出 金	5,016,423	社 国 為 替 債	101
外 国 為 替	10,441	信 託 勘 定 借 金	78,300
そ の 他 資 産	46,128	そ の 他 負 債	7
有 形 固 定 資 産	116,562	役 員 賞 与 引 当 金	31,932
無 形 固 定 資 産	3,184	退 職 給 付 引 当 金	49
繰 延 税 金 資 産	64,089	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	9,717
支 払 承 諾 見 返	34,350	睡眠預金払戻損失引当金	598
貸 倒 引 当 金	△ 31,714	偶 発 損 失 引 当 金	1,012
投 資 損 失 引 当 金	△ 14,056	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	2,051
		支 払 承 諾	21,813
			34,350
		負 債 の 部 合 計	6,841,609
		純 資 産 の 部	
		資 本 金	85,745
		資 本 剰 余 金	85,684
		資 本 準 備 金	85,684
		利 益 剰 余 金	115,809
		利 益 準 備 金	61
		そ の 他 利 益 剰 余 金	115,747
		圧 縮 積 立 金	3
		別 途 積 立 金	98,300
		繰 越 利 益 剰 余 金	17,443
		自 己 株 式	△ 661
		(株 主 資 本 合 計)	(286,577)
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	3,000
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 0
		土 地 再 評 価 差 額 金	27,989
		(評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計)	(30,989)
		純 資 産 の 部 合 計	317,566
資 産 の 部 合 計	7,159,176	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	7,159,176

損益計算書 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位: 百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	151,010
資 金 運 用 収 益	120,059
(うち貸出金利息)	(100,702)
(うち有価証券利息配当金)	(19,144)
信 託 報 酬	6
役 務 取 引 等 収 益	23,859
特 定 取 引 収 益	31
そ の 他 業 務 収 益	3,932
そ の 他 経 常 収 益	3,120
経 常 費 用	122,173
資 金 調 達 費 用	12,787
(うち預金利息)	(8,655)
役 務 取 引 等 費 用	10,897
特 定 取 引 費 用	0
そ の 他 業 務 費 用	3,981
営 業 経 費 費	78,380
そ の 他 経 常 費 用	16,126
経 常 利 益	28,836
特 別 利 益	5,269
特 別 損 失	3,508
税 引 前 当 期 純 利 益	30,597
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	58
法 人 税 等 調 整 額	△ 22,047
法 人 税 等 合 計	△ 21,989
当 期 純 利 益	52,587

(ご参考)

信託財産残高表 (平成23年3月31日現在)

(単位: 百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
有 形 固 定 資 産	1,104	包 括 信 託	1,248
銀 行 勘 定 貸	7		
現 金 預 け 金	136		
資 産 の 部 合 計	1,248	負 債 の 部 合 計	1,248

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位: 百万円)

科 目	金 額
株主資本	
資本金	
前期末残高	85,745
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,745
資本剰余金	
資本準備金	
前期末残高	85,684
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,684
資本剰余金合計	85,684
前期末残高	85,684
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,684
利益剰余金	
利益準備金	
前期末残高	61
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	61
その他利益剰余金	
圧縮積立金	
前期末残高	3
当期変動額	△ 0
圧縮積立金の取崩	△ 0
当期変動額合計	△ 0
当期末残高	3
別途積立金	
前期末残高	81,422
当期変動額	—
別途積立金の横立	16,877
当期変動額合計	16,877
当期末残高	98,300
繰越利益剰余金	
前期末残高	20,478
当期変動額	—
剰余金の配当	△ 3,600
圧縮積立金の取崩	0
別途積立金の横立	△ 16,877
当期純利益	52,587
自己株式の処分	△ 3
自己株式の消却	△ 35,120
土地再評価差額金の取崩	△ 19
当期変動額合計	△ 3,034
当期末残高	17,443
利益剰余金合計	
前期末残高	101,966
当期変動額	—
剰余金の配当	△ 3,600
圧縮積立金の取崩	—
別途積立金の横立	—
当期純利益	52,587
自己株式の処分	△ 3
自己株式の消却	△ 35,120
土地再評価差額金の取崩	△ 19
当期変動額合計	13,842
当期末残高	115,809
自己株式	
前期末残高	△ 643
当期変動額	—
自己株式の取得	△ 35,147
自己株式の処分	8
自己株式の消却	35,120
当期変動額合計	△ 17
当期末残高	△ 661
株主資本合計	
前期末残高	272,752
当期変動額	—
剰余金の配当	△ 3,600
当期純利益	52,587
自己株式の取得	△ 35,147
自己株式の処分	5
自己株式の消却	—
土地再評価差額金の取崩	△ 19
当期変動額合計	13,824
当期末残高	286,577
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	5,452
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 2,452
当期変動額合計	△ 2,452
当期末残高	3,000
繰延ヘッジ損益	
前期末残高	△ 1
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1
当期変動額合計	1
当期末残高	△ 0
土地再評価差額金	
前期末残高	27,970
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	19
当期変動額合計	19
当期末残高	27,989
評価・換算差額等合計	
前期末残高	33,421
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 2,432
当期変動額合計	△ 2,432
当期末残高	30,989
純資産合計	
前期末残高	306,174
当期変動額	—
剰余金の配当	△ 3,600
当期純利益	52,587
自己株式の取得	△ 35,147
自己株式の処分	5
土地再評価差額金の取崩	△ 19
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 2,432
当期変動額合計	11,392
当期末残高	317,566

* 次頁「」の表紙側よりご覧ください

連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成23年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
現 金 預 け 金	224,843	預 金	6,451,406
コールローン及び買入手形	10,735	譲 渡 性 預 金	141,495
買 入 金 銭 債 権	25,425	コールマネー及び売渡手形	134,379
特 定 取 引 資 産	3,297	債券貸借取引受入担保金	44,459
金 銭 の 信 託	2,942	借 用 金	45,970
有 価 証 券	1,635,176	外 国 為 替	101
貸 出 金	5,229,084	社 託 勘 定 債	78,300
外 国 為 替	10,441	信 託 勘 定 借	7
そ の 他 資 産	49,711	そ の 他 負 債	55,388
有形固定資産	120,936	役 員 賞 与 引 当 金	49
無形固定資産	4,257	退 職 給 付 引 当 金	10,805
繰 延 税 金 資 産	67,723	役員退職慰労引当金	758
支 払 承 諾 見 返	61,673	睡眠預金払戻損失引当金	1,047
貸 倒 引 当 金	△ 43,498	偶 発 損 失 引 当 金	2,115
投資損失引当金	△ 999	特 別 法 上 の 引 当 金	0
		再評価に係る繰延税金負債	22,310
		支 払 承 諾	61,673
		負 債 の 部 合 計	7,050,269
		純 資 産 の 部	
		資 本 金	85,745
		資 本 剰 余 金	90,301
		利 益 剰 余 金	116,300
		自 己 株 式	△ 661
		(株 主 資 本 合 計)	(291,686)
		その他の有価証券評価差額金	3,408
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 0
		土地再評価差額金	27,989
		為 替 換 算 調 整 勘 定	△ 0
		(その他の包括利益累計額合計)	(31,396)
		少 数 株 主 持 分	28,397
		純 資 産 の 部 合 計	351,480
資 産 の 部 合 計	7,401,749	負債及び純資産の部合計	7,401,749

連結損益計算書 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	165,123
資 金 運 用 収 益	127,384
(うち貸出金利息)	(107,567)
(うち有価証券利息配当金)	(19,072)
信 託 報 酬	6
役 務 取 引 等 収 益	29,627
特 定 取 引 収 益	193
そ の 他 業 務 収 益	4,606
そ の 他 経 常 収 益	3,305
経 常 費 用	134,588
資 金 調 達 費 用	12,476
(うち預金利息)	(8,884)
役 務 取 引 等 費 用	9,343
特 定 取 引 費 用	0
そ の 他 業 務 費 用	4,459
営 業 経 費	87,861
そ の 他 経 常 費 用	20,448
経 常 利 益	30,535
特 別 利 益	7,706
特 別 損 失	4,005
税金等調整前当期純利益	34,235
法人税、住民税及び事業税	656
法 人 税 等 調 整 額	△21,674
法 人 税 等 合 計	△21,017
少数株主損益調整前当期純利益	55,253
少 数 株 主 利 益	1,869
当 期 純 利 益	53,384

連結株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)(単位：百万円)

科 目	金 額
株主資本	
資本金	
前期末残高	85,745
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,745
資本剰余金	
前期末残高	90,301
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	90,301
利益剰余金	
前期末残高	100,681
当期変動額	△3,600
剰余金の配当	53,384
当期純利益	△3
自己株式の処分	△35,120
自己株式の消却	△19
土地再評価差額金の取崩	979
持分変動に伴う利益剰余金の増加	15,619
当期変動額合計	116,300
当期末残高	116,300
自己株式	
前期末残高	△643
当期変動額	△35,147
自己株式の取得	8
自己株式の処分	35,120
自己株式の消却	△17
当期変動額合計	△661
当期末残高	△661
株主資本合計	
前期末残高	276,085
当期変動額	△3,600
剰余金の配当	53,384
当期純利益	△35,147
自己株式の取得	5
自己株式の処分	—
自己株式の消却	△19
土地再評価差額金の取崩	979
持分変動に伴う利益剰余金の増加	15,601
当期変動額合計	291,686
当期末残高	291,686
その他の包括利益累計額	
その他の有価証券評価差額金	
前期末残高	5,720
当期変動額	△2,312
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,312
当期変動額合計	△2,312
当期末残高	3,408
繰延ヘッジ損益	
前期末残高	△1
当期変動額	1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1
当期変動額合計	△0
当期末残高	△0
土地再評価差額金	
前期末残高	27,970
当期変動額	19
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	19
当期変動額合計	27,989
当期末残高	27,989
為替換算調整勘定	
前期末残高	△0
当期変動額	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△0
当期変動額合計	△0
当期末残高	△0
その他の包括利益累計額合計	
前期末残高	33,688
当期変動額	△2,292
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,292
当期変動額合計	31,396
当期末残高	31,396
少数株主持分	
前期末残高	26,887
当期変動額	1,510
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,510
当期変動額合計	28,397
当期末残高	28,397
純資産合計	
前期末残高	336,661
当期変動額	△3,600
剰余金の配当	53,384
当期純利益	△35,147
自己株式の取得	5
自己株式の処分	△19
土地再評価差額金の取崩	979
持分変動に伴う利益剰余金の増加	14,819
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△782
当期変動額合計	14,819
当期末残高	351,480

株式の状況

発行可能株式総数 1,800,000,000株 [内普通株式 1,500,000,000株
内優先株式 300,000,000株]

平成23年3月31日の発行済株式の総数 普通株式 796,732,552株

平成23年3月31日の株主数 普通株式 22,250名

大株主（普通株式）

（平成23年3月31日現在）

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	96,778	12.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	49,385	6.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	31,848	3.99
日本生命保険相互会社	20,477	2.57
東京海上日動火災保険株式会社	12,739	1.59
株式会社みずほコーポレート銀行	11,507	1.44
株式会社りそな銀行	11,000	1.38
明治安田生命保険相互会社	10,945	1.37
株式会社三井住友銀行	10,748	1.34
JA三井リース株式会社	10,089	1.26

(注) 1.所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。2.持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株式のご案内

- 1. 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- 2. 定時株主総会** 6月に開催いたします。
- 3. 配当金**

期末配当金
お支払いについて 3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。

中間配当金
取締役会の決議によって中間配当を行う場合は、9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。

配当金のお受取りには、当行の預金口座への振込をご利用いただきますと、速くて便利です。
- 4. 基準日** 定時株主総会については3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 5. 公告方法** 電子公告による公告とし、当行ホームページ(<http://www.ncbank.co.jp>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、西日本新聞と日本経済新聞に掲載いたします。
- 6. 株主名簿管理人
特別口座の
口座管理機関**

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社

(1) 事務取扱場所 福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
電話：福岡(092) 741-0284

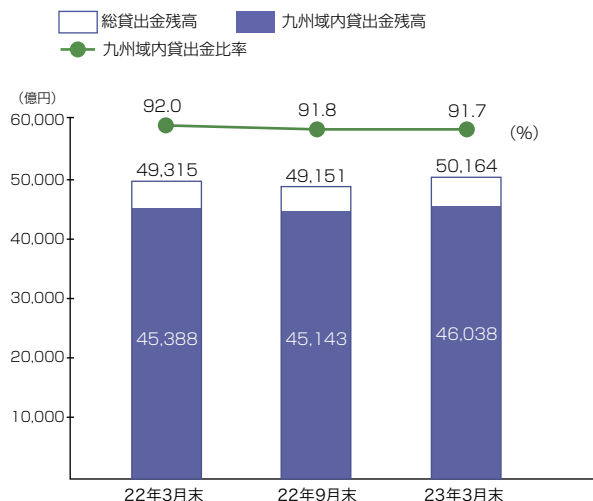
(2) お問合せ先 〒137-8650
東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部
☎ 0120-707-843(フリーダイヤル)

(ご注意) 株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

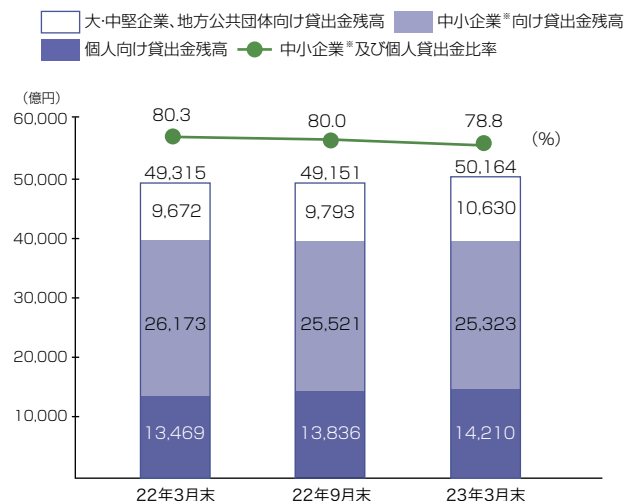
貸出金の状況

平成23年3月末の総貸出金のうち、九州域内での貸出金の比率が91.7%、また、中小企業※及び個人への貸出金の比率が78.8%と九州の特に中小企業・個人のお客さまを中心とした様々な資金ニーズにお応えしております。

●貸出金と地域の内訳



●貸出金と対象先の内訳

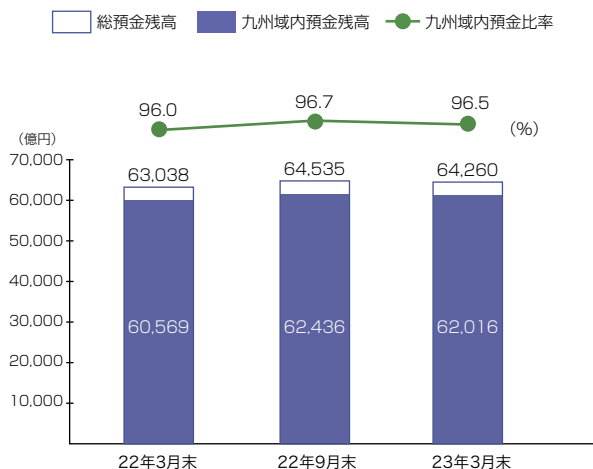


※中小企業…資本金3億円(但し、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(但し、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人)以下の会社及び個人事業主

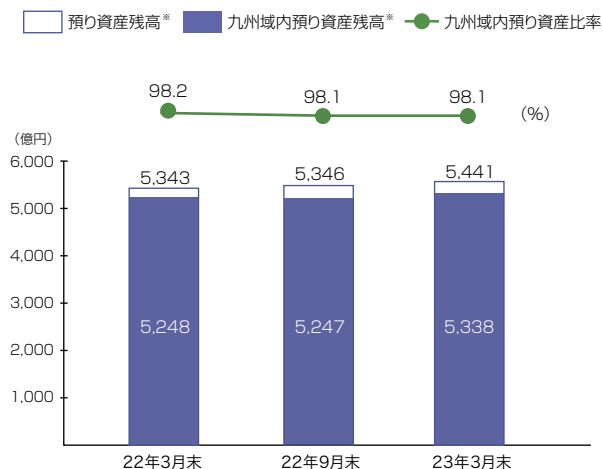
預金・預り資産の状況

平成23年3月末の譲渡性預金を含む預金残高のうち、九州域内での預金の比率が96.5%、預り資産(投資信託・個人年金保険)のうち九州域内での預り資産の比率が98.1%となっており、九州地域の皆さまから多くのご資産をお預りするとともに、皆さまの多様なニーズにお応えするため、商品・サービスの充実を図っております。

●預金(譲渡性預金を含む)と地域の内訳



●預り資産(投資信託・個人年金保険)と地域の内訳



※預り資産残高=投資信託残高+個人年金保険販売累計額

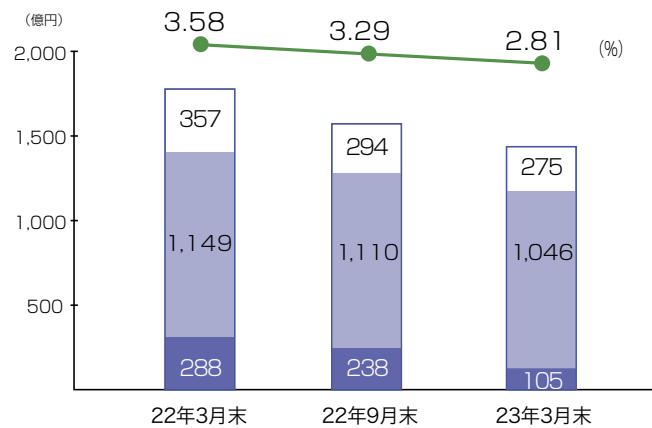
不良債権の状況(※分割子会社合算ベース)

平成23年3月末の金融再生法に基づく開示債権の残高は、資産の自己査定基準に基づき、償却・引当を実施した結果、平成22年3月末比366億円減少し、1,428億円となり、開示債権比率は2.81%となりました。

※分割子会社合算ベース＝銀行単体＋NCBターンアラウンド株式会社

●不良債権比率

破産更生債権及びこれらに準ずる債権 危険債権 要管理債権 金融再生法開示債権比率



用語説明

コア業務純益

預貸金業務などによる“資金利益”や投資信託等の販売手数料などの“役務取引等利益”などを含む“業務粗利益”から“経費”を差し引いたもので、銀行本来業務の収益力を表す指標として一般的に用いられています。

$$\text{コア業務純益} = \text{業務粗利益(除く国債等債券損益)} - \text{経費}$$

自己資本比率

銀行の健全性を示す指標のひとつです。
国内基準で4%以上を維持することが求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本(資本金など)}}{\text{リスク度合を考慮した資産}}$$

Tier I 比率

自己資本のうち資本金・資本剰余金・利益剰余金などの基本的項目をもとに算出される自己資本比率です。

用語説明 ～金融再生法による開示債権の定義～

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産・会社更生・再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

危険債権

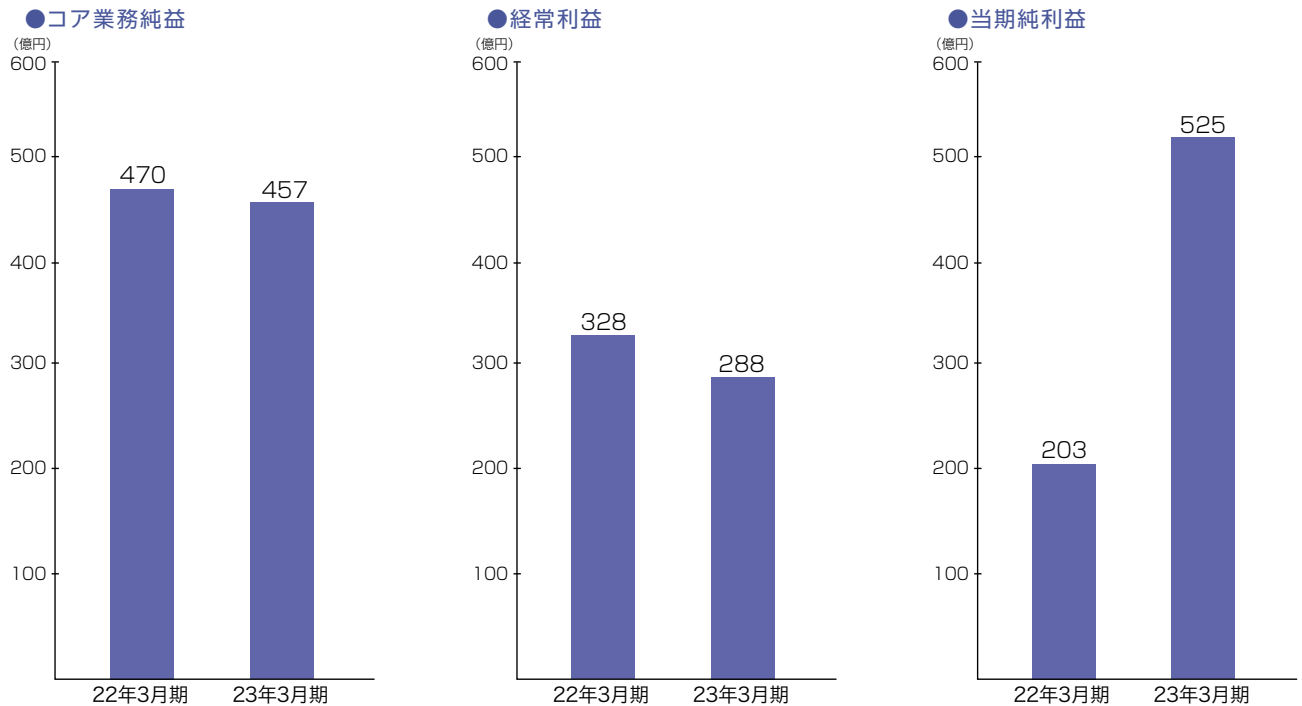
債務者が、経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権

要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

損益の状況 (単体)

市場金利が低下したなか、資金利益は増加しましたが、積極的なシステム投資や派遣スタッフを直接雇用としたことなどによる経費の増加により平成23年3月期のコア業務純益は457億円、経常利益は288億円となりました。また、子会社の解散を要因として当期純利益は525億円となりました。

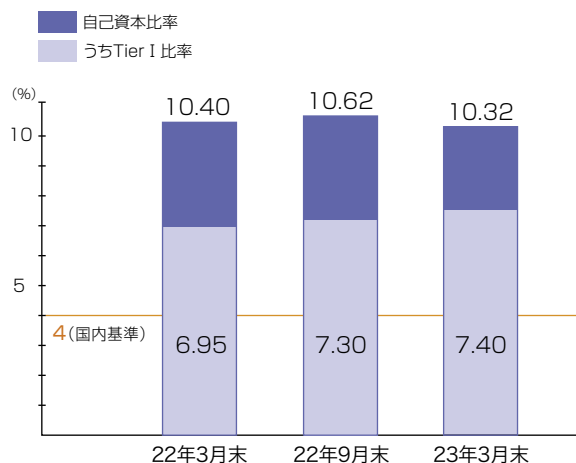


自己資本比率の状況

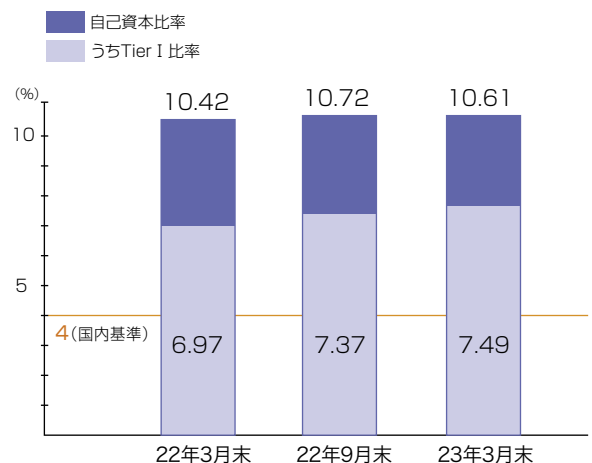
成23年3月末の自己資本比率は、単体で10.32%、連結で10.61%となりました。また、中核的自己資本であるTier I 比率は、単体で7.40%、連結で7.49%となりました。今後も資本の充実を図り、自己資本比率の向上に努めてまいります。

●自己資本比率・Tier I 比率

[単体]



[連結]



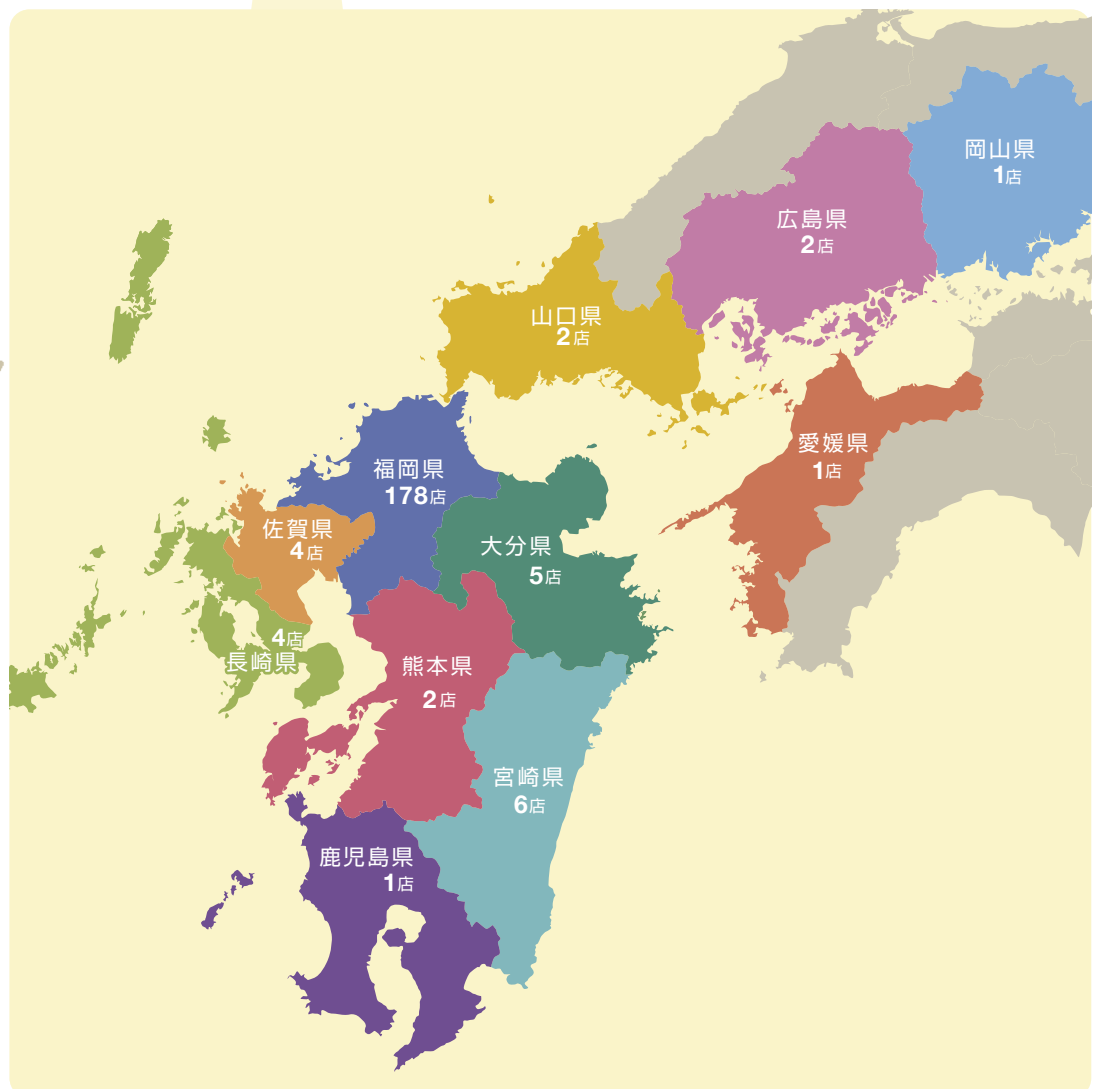


●店舗数	208か店
●海外駐在員事務所	3か所

ATM／2,093台
 店内929台
 店外1,155台
 うちコンビニATM 707台
 ●ローソン640台
 ●ファミリーマート67台

提携金融機関

- リソナブルダニア銀行
(インドネシア)平成8年提携
- 中国銀行(中国)平成13年提携
- 日本政策金融公庫(日本)平成13年提携
- 新韓銀行(韓国)平成19年提携
- OCB(ベトナム)平成20年提携
- BNPパリバ(ベトナム)平成20年提携
- バンコック銀行(タイ)平成21年提携





CONTENTS

コタエがある。SIDE

店舗網・海外ネットワークのご案内	①
平成23年3月期業績ハイライト	②
株式の状況	⑤
平成23年3月期財務諸表	⑥

プロフィール

商号	株式会社西日本シティ銀行
設立	昭和19年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
資本金	857億45百万円
店舗数	208か店
従業員数	3,881名
総資産	7兆1,591億円
預金・譲渡性預金残高	6兆4,260億円
貸出金残高	5兆164億円
(平成23年3月31日現在)	

※計数につきましては、原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

平成23年7月発行 株式会社 西日本シティ銀行 広報文化部 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号 TEL 092-476-1111 (代表) ホームページ ▶<http://www.ncbank.co.jp>

コタエがある。

ミニディスクロージャー誌

業績・財務データ

平成 23 年 3 月期

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)



ココロがある。コタエがある。
西日本シティ銀行